

好評
開催中!

「浮世絵の美—平木コレクションの名品—」

平木浮世絵財団は、実業家・平木信二氏の収集品に基づき昭和 47 年に設立されました。その核となる平木コレクションは、戦前の日本の三大浮世絵コレクションであった三原・斎藤コレクションを加え集大成されたもので、日本屈指の良質な浮世絵コレクションとして国内外から高く評価されています。

平木コレクションは、特定の時期や絵師に偏ることなく、浮世絵の歴史を体系的にたどることができるよう形成されていることも大きな特徴です。

本展では 6,000 点におよぶ所蔵品の中から、重要文化財・重要美術品のみを選び、かつてない豪華な内容となっています。錦絵誕生以前の初期の貴重な作品から、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重といった名だたる絵師たちの作品を通じて浮世絵の神髄を味わえる機会です。

開会から 1 週間、多くの皆さんにご来場いただいています。6 月 8 日には展示替えもありますので、前期・後期ともご来場いただき、すべての作品を楽しんでみてください。

▽開催期間 6 月 28 日まで

▽観覧時間 午前 9 時半～午後 4 時

半

▽休館日 6 月 8 日（一部展示替えのため）

▽観覧料 一般 = 800 (600) 円
／高校・大学生 = 400 (300) 円
／小・中学生 200 (100) 円

※ () 内は 20 人以上の団体料金。
また、65 歳以上の市民、市内の小・中学生や障がい者、外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。住所や年齢を確認できるものを提示してください。

【ギャラリートーク】

▽とき 期間中の毎週日曜日、午後

2 時～

▽講師 当館学芸員

【親子鑑賞会作品解説】

▽とき 期間中の毎週土曜日、午前 10 時半～

▽内容 親子鑑賞会に来館した人を対象に、子ども向けの作品解説をします。

▽講師 当館学芸員

▽参加料 無料(観覧料は必要です)～共通事項～

▽ところ 市立博物館(下白銀町)

■問い合わせ先 市立博物館(☎ 35・0700)



1 葛飾北斎「詩哥寫真鏡 少年行」、2 東洲斎写楽「三代目市川高麗蔵の志賀大七」、3 喜多川歌麿「高名三美人」

ようこそ！ヒロハクへ～館長の博物館レポート①～

大浦光信像のナゾ

昨年 4 月、博物館長に就任した長谷川です。ここでは、私を含めて本館職員が、ヒロハク(弘前市立博物館)の秘めたるエピソードや、とっておきの情報などを紹介して、皆さんにヒロハクの魅力を満喫してほしいと思います。

ところで、皆さんの中には、本館の歴史の展示室にパネル写真で展示している大浦光信像をご覧になった人が多いでしょう。ご存知のように、光信は津軽氏発展の基礎を築いた人物といわれ、藩祖為信の四代前にあたります。現在、彼の画像などは残っていませんが、長勝寺に光信像として、華麗な甲冑(かっちゅう)をまとった床机(しょうぎ)に腰掛けた、50cm ほどの高さの凛々しい若武者の像が安置されています。

最近、この像の制作年などが判明しました。「弘前藩日記御国日記」(享保 15 年(1730)5 月 7 日条(市立図書館蔵))に、長勝寺が江戸の駒込千駄木(現東

京都文京区千駄木)にある捨禅寺を通じて江戸の仏師に制作を依頼したとあります。その際の注文書には、「①像高は、約 50 cm ほどで、床机に腰掛けていること/②顔立ちは、柔和円満で、目には玉眼を入れること/③甲冑をつけ、鎧の上から直垂(ひたたれ)を着していること/④右の手に金の采配を持っていること/⑤太刀を帯びていること/⑥右の脇に陣貝(じんがい)を指していること」と定められています。特に②の顔立ちは、柔和・円満、玉眼であること以外は規定がありません。想像をたくましくすれば、仏師が光信像のモデルとしたのは、江戸で多くの女性を魅了した瓜実顔(うりぎねがお)のハンサムな役者であったかもしれません。(館長・長谷川成一)



▲大浦光信像

■問い合わせ先 市立博物館(☎ 35・0700)

